

(様式 2)

2023年 5月 10日

女性の就農環境改善計画

(令和5年度女性の就農環境改善支援事業)

実施するメニュー (該当に○)	第4の(1) (施設等確保の取組)	○
	第4の(2) (グループの新たな取組)	

1 地域取組主体の概要

名称	株式会社WaccaFarm	
所在地	岡山県瀬戸内市邑久町尻海	
代表者	佐々木 竜也	
主な組織の事業内容(注)	<p>【会社概要】 従業員数：7名(内女性5名) 農地面積：11ha (露地野菜2ha、水稻8ha、果樹1ha) 売上：年商1600万円 関連会社：自然食品店コタン(従業員21名：内女性20名) 農産加工toita(従業員2名：内女性2名)</p> <p>株式会社WaccaFarm(ワッカファーム)は、岡山県瀬戸内市を中心に自然栽培の農業を営む農業法人である。 岡山県は、年間を通して雨や雪が少なく温暖で日照時間が長く「晴れの国 岡山」と言われている。農場は岡山県南部に位置しており年間を通じて露地野菜を生産収穫することができる。2005年より18年間、自然栽培の野菜を生産している。 現在は野菜の他に、米と果樹(梅園)の専任スタッフを育成し栽培品目・面積を増やしている。米部門は、2019年より専任スタッフがつき年々生産量も増加。梅園は岡山市中区にあり、2020年より女性の専任スタッフを中心に整備している。 野菜、米、果樹ともに無農薬・無肥料(植物性肥料のみ使用)の自然栽培である。野菜は在来固定種を年間約80</p>	女性農業者の 人数：5人

種類栽培している。米は、岡山で昔から人気のある「朝日米」と「ひのひかり」を生産している。粳で保存し出荷直前に粳摺りをするため、年間通じて劣化することなくおいしい米を消費者に届けている。都度の粳摺りは手間がかかるが味に大きく影響するため、生産方法に加え保管方法にもこだわっている。

売上の7割は、個人宅配で季節ごとに野菜10種類をセットにして販売している。旬の移り変わりが感じられる在来種の野菜は、新鮮で味が濃い。創業当初から継続して購入している顧客も多数おり人気のセットである。米部門が確立してからは、野菜と米を合わせて定期で購入する顧客が多い。個人宅配は週に60セット程度(売上平均25万円/週)出荷している。昨今のオーガニック志向で、野菜・米ともに新規に求める方からの問い合わせもあるが、生産量に限りがあるため、注文に答えられない時が発生する状況である。

売上の3割は卸売りしており、関連会社の自然食品店コタンや県内外の飲食店、小売店にも週1回納品している。

関連会社である自然食品店コタンは、年商1億円で岡山市内に2店舗とネットショップでオーガニック食品の小売りをしている。岡山県内だけでなく全国的に信頼されている自然食品店である。梅園の梅は、コタンで販売すると1000キロ仕込んだ梅干しが、半年で売り切れ、増産を依頼されている。創業当初から生産(WaccaFarm)と販売(コタン)の関係性を強固に築いてきた。

また、地域の活動では、地産地消給食への取り組みを進める瀬戸内市のヘルシータウン事業協議会事務局長として行政と農業者の連携や調整を積極的に行っている。食育・講演会活動で市民の食への関心を高める活動も講師として参加している。瀬戸内市農業経営者クラブでは、昨年度は会長、現在は監査役として地場産品を広めるため、イベントの実施や農業者同士の交流会など積極的に行っている。

	<p>【新規スタッフの受け入れ体制】</p> <p>1. WWoof（ウーフ）</p> <p>World Wide Oppourtunities on OrganicFarmの略で、「世界に広がる有機農場での機会」を意味している。世界で20カ国以上ウーフ事務局が設置され、日本の事務局は1994年に設置された。日本国内の受入れ農場は、300か所が登録されている。</p> <p>有機農場で働く代わりに、食事・宿泊場所・知識経験を提供するシステムで、この有機農場ボランティアシステムに2012年より登録している。</p> <p>世界中から、年間10～15人（女性8割）のスタッフを受け入れている。現在の農場管理部門責任者である女性スタッフもウーフ制度を利用し、農場体験後に入社し就農に至っている。独立してたまねぎ農家に就農したボランティアスタッフもあり、将来、農業をやりたい者にとって貴重で重要な経験を積める場となっている。</p> <p>2. 農の雇用事業</p> <p>農林水産省管轄の事業で、現在までに6名（男性4名女性2名）を雇用。2年間の研修後、6名のうち4名が独立就農（うち3名は瀬戸内市にて就農）、1名が農産加工事業、1名が飲食事業（野菜を自給）開業している。受け入れた全員が農業に関わる仕事に従事している。</p> <p>3. 農業インターンシップ事業</p> <p>一般社団法人全国農業会議所の事業。就職先として農業を知ってもらうことを目的とした就業体験制度に受入農業法人として登録している。これまで3名の大学生を受け入れた。（コロナ禍以降休止中）</p>	
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

（注）主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

2 事業実施体制

○行政との連携体制

・瀬戸内市農業経営者クラブ監査役を担っているスタッフを担当者とし、瀬戸内市と連携を取り、就農情報を発信していく

○男女別トイレ・シャワー室環境整備

・法人代表を統括責任者とし、作業所内と梅園に男女別トイレを設置する等の働きやすい環境整備を行う

○専門家との連携体制

・新規スタッフ受け入れ担当者（労務担当）が専門家の社労士にアドバイスを受け、長期雇用ができる体制を構築する

（注）実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

3 女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画（実績）

（1）地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

【社会情勢等を踏まえた地域の女性農業者の課題】

農場のある尻海地区は、瀬戸内市でも過疎化が最も深刻な地区であり高齢化率50%を超えており、現在約600人の住民も減少の一途をたどっている。約200ヘクタールと増加した耕作放棄地も問題視されている。

WaccaFarmは、耕作放棄地を開墾し18年間地域に根付き農業に従事してきた。現在は瀬戸内市の認定農業者である。家族でこの地区に移住したスタッフも2組おり、耕作放棄地を活用する担い手としてだけでなく、住民の呼び込みでも地域から期待される存在となっている。若者や母親世代の女性、家族の移住を積極的に受け入れるためにも、地域の産業として自然栽培の農業に従事しやすい環境を作りたいと切望している。

しかしながら、スタッフの受け入れを行う事務所兼作業場及び宿泊場所（農場本部建物）は、築70年と老朽化が進んでおり、トイレは男女兼用が1つで、10年前に和式から様式に改修したものの利用しやすくはない。また、風呂も1つしかない。寝食を共にする受け入れ体制のため、農作業後に風呂の順番待ちになることが日常茶飯事である。3時間以上待つ場合もあり、特に夏場は過酷な状況である。

私たちは持続可能な農業を伝えることだけでなく、衣食住すべてが大切だと痛感している。農業の技術だけでなく生活スタイルを提案するためには、短期間でも生活を共にして体験することが重要であると考えている。食生活や自然環境などは満足してもらえ毎月ウーフとしてくるスタッフもいるが、トイレと風呂に課題が残る。

また、梅園は岡山市内からアクセスしやすい場所にあり、収穫体験を希望する声が多いがトイレ設備がないため受け入れることができない状況である。

トイレが使いづらいことや休憩所がないため、3時間のみの労働を希望するスタッフも

おり、女性の働く時間を短くせざるを得ないのも課題となっている。

これまで、県外からも就農希望として訪れるスタッフは数多く岡山県は温暖な気候で住みやすい環境であることは間違いない。WaccaFarmの農産品は大変人気があるため、環境を整えこの地域に就農者を増やすことが課題である。

【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性（既存の施設等の利用状況を含む）】

自然栽培の野菜や米が求められているなか、出荷量を増やすには、出荷作業などのスタッフ労働力（＝労働時間）が必要である。出荷作業は、洗果や袋詰めなど女性スタッフが得意とする細やかな業務が多い。また、果樹の収穫作業も果樹を傷めないよう注意を払い、力仕事より丁寧さが求められる。

特に6月は、農場は苗の定植、米部門は田植え、梅園は梅の収穫と各部署で繁忙期を迎える。部署間での応援調整が難しく、女性スタッフの新規採用は必須である。梅園の梅は、年1回の収穫時期であり、この時期にスタッフを増員することは収穫量に大きく関わってくる。梅園は、トイレがないことからスタッフの受け入れは積極的にできていない。農場に関しても、トイレやシャワー室の環境から同じことが言える。そのため、労働環境を整え、女性スタッフの雇用が必要である。

【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】

瀬戸内市に自然栽培を長年続けているWaccaFarmがあること、そしてその農場が働きやすい環境を整え女性の活躍できる場であると周知されることが課題である。

(注) (2)、(3)の取組に係る具体的な課題を記載する。

(2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保にかかる計画（実績）

確保する施設等の区分	①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他							
	区分番号 (注1)	時期	確保場所	数量	利用する 女性農業 者(注2) の人数	事業費 (千円)	国庫補助金	備考
②男女別トイレ		R5.10	農場本部建物	1	5	3,371	3,000	

⑥シャワー室	R5.10		2				
計			3	5	3,371	3,000	

(注1) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

(注2) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事のものとする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。（3）において同じ。

(注3) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

(3) 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかると計画（実績）

取組区分	①品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組 ④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他							
	区分番号 (注1)	時期	内容	実施回数	参加する 女性農業 者の人数	事業費(千 円)	国庫補助金	備考
計								

(注1) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(注2) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

【事業成果及び今後の展開】

※第4の(2)「グループの新たな取組」のみ記載

※区分番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品づくりに関しては、翌年度以降の販売事業計画も併せてご記入ください。

区分番号	事業成果、今後の展開

4 本事業を活用した取組計画（注）

時期	取組内容・回数	備考
	<p>【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組（既存の取組を含む）】</p> <p>瀬戸内市に住み込みも可能な自然栽培農場があること、そして農場は、男女別トイレ・シャワー室などを設置し働きやすい環境を整えていることを情報発信していく。イベント及びSNSを中心に周知活動を行う。WaccaFarmのSNSフォロワーは4,700人おり、農業に興味のある層である。フォロワーに情報発信することで、より効果的にアピールできる。</p> <p>また、トイレ・シャワー室の環境が整っていないために、離職したスタッフに対して復職しやすい状況であることを発信する。関連会社コタンは21人中20人女性スタッフの割合が極めて高い。コタンスタッフの農業体験機会を設け、農業に興味を持ってもらう機会を作る。</p> <p>【本事業を活用した取組の実施方針】</p> <p>新規スタッフは、農場管理部門スタッフ1名、出荷管理部門スタッフ2名増員を目指し、露地野菜の生産量を増やす。梅園は、収穫ボランティアスタッフを募集し収穫量を増やす。</p> <p>【具体的に実施する取組内容】</p>	
毎月	○瀬戸内市の朝市（福岡の市）出店での求人募集	
毎月	○農業者を中心にしたファーマーズマーケットで求人募集 月2回開催	
随時	○HP、SNS（フェイスブック、インスタグラム）で情報発信 ※インスタグラムフォロワーは現在4700名	
随時	○ウーフの受け入れ	
随時	○農の雇用事業での受け入れ	
4月～	○農業インターンシップ受け入れ再開	

10月 6、8、10月 6月 10月	○学校、公民館での講座（食育・地域産業の活性化など） ○関連会社コタンとの連携による情報拡大及びコタンスタッフの農作業体験会実施 ○梅園 梅の収穫体験 ○退職者に対しての求人情報を発信	
-----------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

(注) 3の取組を踏まえ、5の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

5 女性農業者確保の目標 (注)

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数 (注)	事業実施年度	3人	
	事業実施翌年度	5人	
	合計	8人	
(女性農業者の新規確保人数の内訳)			
自営農業就業者	0人、雇用就農者	1人、アルバイト等	7人

(注) 事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

(参考)

上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画 (第4の(1)「施設等確保の取組」のみ記載)
【事業実施年度】 (取組予定業務) 露地野菜の生産管理及び出荷、青梅収穫 (採用時期) R5. 5~12月 (人数) 3人
【事業実施翌年度】 (取組予定業務) 露地野菜の生産管理、飲食業 (採用時期) R6. 5~12月 (人数) 2名

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。